

水環境共働ビジョン

～地域が支える流域の水環境～



「地域の水環境への取り組みが大きな流域の水循環を支える」という考え方のもと、次世代への良好な水環境を受け継ぐために、「水環境共働ビジョン～地域が支える流域の水循環～」を策定し、H20年度からモデル地区（本地新田地区、西中山地区、高橋・上野・東山地区、西広瀬地区）を中心に活動してきました。

H21年度の活動として、モデル地区の組長さんを対象にした水環境に関する意識調査アンケート、11月には「生き物の豊かな川をめざして」というタイトルで水環境共働ビジョンに関する講演会を開催しました。

皆さんの周りでも「水」との触れ合いの輪を広めませんか！

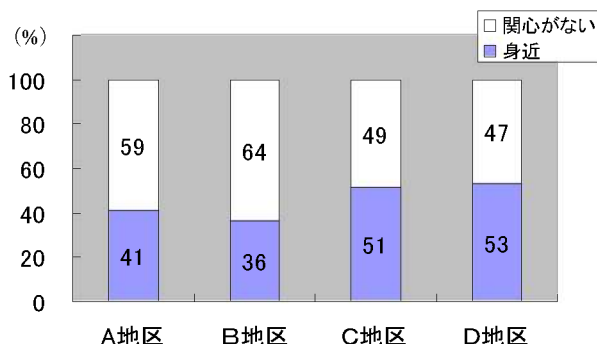


水環境に関する意識調査アンケート

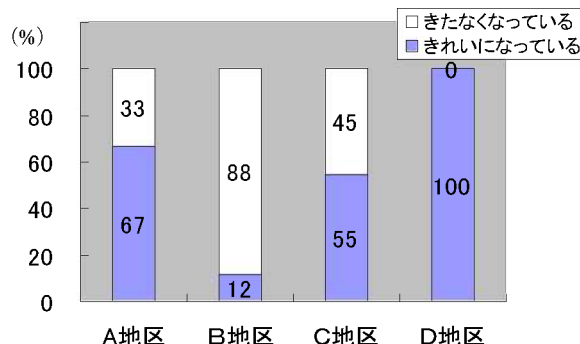
対象：モデル地区組長（回答255枚）

実施時期：8月下旬～9月上旬

Q. あなたにとって地元の河川は
どのようなところですか

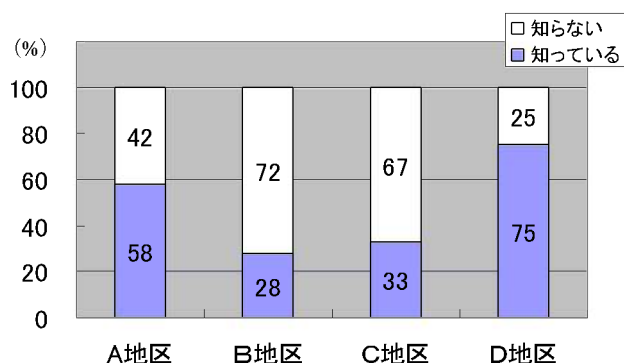


Q. 地元の河川の水質は昔と比べて
どうですか。

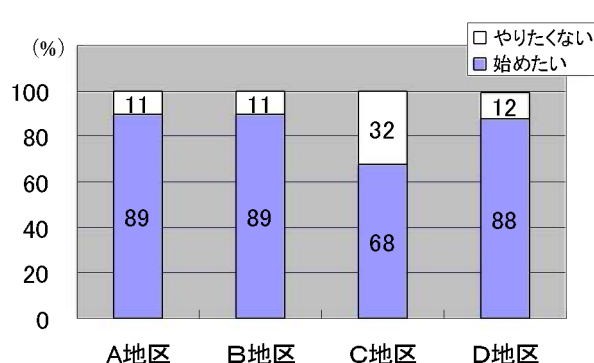


A地区：本地新田地区 B地区：西中山地区 C地区：高橋・上野・東山地区 D地区：西広瀬地区

Q. 他の地区での水に関する活動を知っていますか。



Q. 水に関する新たな活動を始めたいと思いますか。



普段から河川の愛護活動に参加している方とそうでない方で環境意識に差があり、河川の水質については下水道整備が進んでいる地域ほど河川の水質はきれいになっていると感じている方が多いことがわかります。また、多くの地域で草刈等の水に関わる活動が行われているようですが、それぞれの活動はあまり知られておらず、情報を共有することができれば、さらに地域の水環境意識が向上すると思われます。

水環境共働ビジョンに関する講演会

実施日時：11月28日（土）

場所：保見交流館 多目的ホール

参加者：34名



昨年度はモデル地区の方を対象にした交流会を開催しましたが、今年度は全市を対象に水環境共働ビジョンに関する講演会を開催しました。講演内容は矢作川研究所の洲崎主査による「在来植物を守る川辺の草刈の方法について」、山本主査による「身近な淡水魚の復活について」、下水道建設課による「水に関する意識調査の結果についての報告」を行い、参加者の方々からご好評をいただきました。今後もこのような活動を行い、豊田市の水環境意識の向上を図っていきます。



豊田市下水道イメージキャラクター
“ミカホちゃん”

このパンフレットに関するご意見を
郵便、FAX、メールにてお寄せください。

編集・発行／豊田市上下水道局下水道建設課 〒471-8501 豊田市西町3丁目60番地

TEL：0565-34-6624

FAX：0565-34-0226

e-mail：g_kensetu@city.toyota.aichi.jp